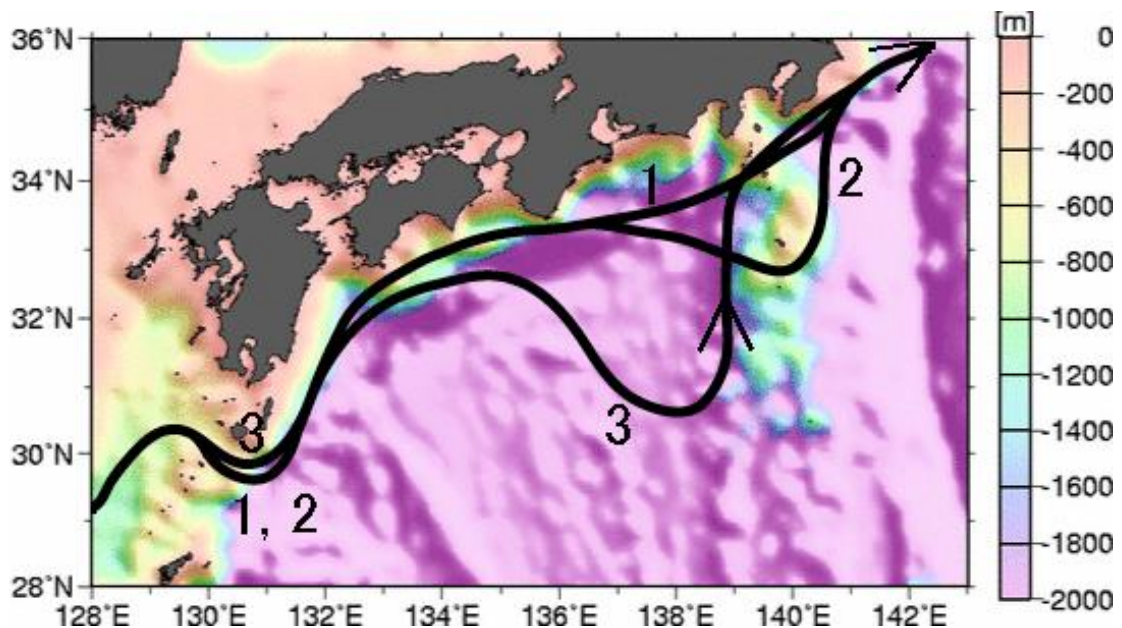


【黒潮】

黒潮は、東シナ海を北上して九州と奄美大島の間のトカラ海峡から太平洋に入り、日本の南岸に沿って流れ、房総半島沖を東に流れる海流です。流速は速いところでは 4 ノット (2m/s) 以上に達し、その強い流れは幅 100km にも及びます。四国・本州南方を流れる黒潮には、大きく分けて 2 種類の安定した流路(*1) のパターンがあります。一方は、本州南方の東経 136 度～140 度で北緯 32 度以南まで大きく蛇行して流れる「大蛇行流路」、他方は四国・本州南岸にほぼ沿って流れる「非大蛇行流路」と呼ばれているものです。



本州南岸を流れる黒潮の典型的な流路

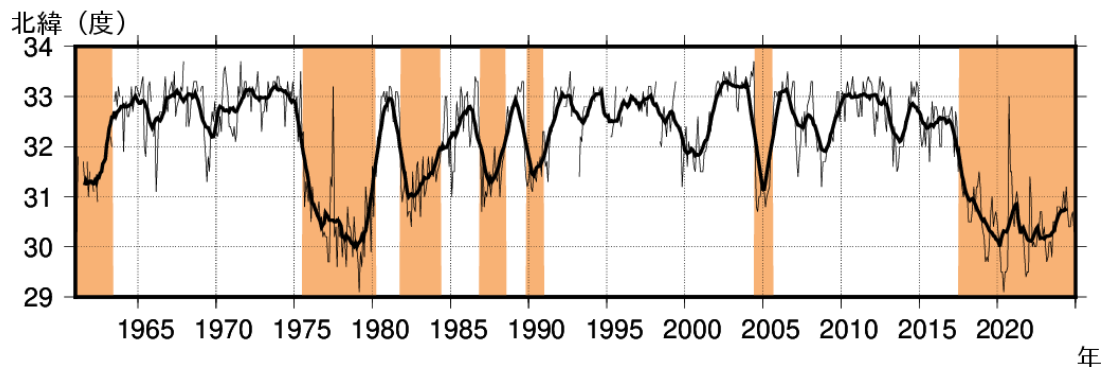
1 : 非大蛇行接岸流路 2 : 非大蛇行離岸流路 3 : 大蛇行流路

*1 流路：強流帯（流軸を含む）

【黒潮の大蛇行】

気象庁では、本州南岸の黒潮流路が以下の2つの条件を共に満たした場合に大蛇行と判定しています。

- 潮岬で黒潮が安定して離岸していること
- 東海沖（東経 136～140 度）での黒潮流路の最南下点が北緯 32 度より南に位置していること



東海沖における黒潮流路の最南緯度の経年変動（1961 年 1 月～2024 年 12 月）
東海沖における黒潮流路の月ごとの最南緯度を細線で、13 か月移動平均値を太線で示しています。オレンジ色は黒潮大蛇行の期間を表しています